

日刊 磐城時報

福島縣磐城郡平町町屋町十四
印刷部 印刷
電話 磐城 二二二
發行所 磐城郡平町町屋町十四
電話 磐城 二二二
社址 磐城郡平町町屋町十四
電話 磐城 二二二
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷部 印刷
電話 磐城 二二二

土木關係の損害 十萬圓を突破す

一番甚だしいのは道路 平土木監督所で調査

石城地方に於ける暴風雨の被害は昨報の如くであるが、平土木監督所で調査したところによると、損害額は十萬圓を突破してゐる。尚ほ詳細な点は工務課長以下署員總出で調査中であるが損害の内譯を聞くと左の如くである。

▲堤防決壊 鮫川(護岸工事)十一ヶ所 二萬六千二百七十圓、藤原川二ヶ所 千八百圓、夏井川六ヶ所 七千二百五十六圓、仁井田川一ヶ所 千二百圓、好間川五ヶ所 三千九百七十圓、久ノ濱井出川四百五十圓、計四萬五千四百十六圓

▲橋梁 六十枚橋外七ヶ所、九千五百五十五圓

▲海岸線除堤防 護岸工事江名泉、三ヶ所 五千七百七十七圓

▲道路 國道(内郷、久之濱、湯本、廣野)六ヶ所 一萬四千二百四十圓、石川湯本線二ヶ所 八百五十圓、小野新町平間二ヶ所 千五百四十三圓、三坂平線七ヶ所 一萬四千九百六十六圓、三坂石川線一ヶ所 五千五百圓、江名線五ヶ所 一萬七千七百六十圓、田入植田線三ヶ所 千九百五十圓、計四萬六千五百二十三圓

▲總計 十萬二千四百一圓

豪雨の犠牲者 二人の死体發見

農作物も被害甚大

双葉郡富岡町小良ヶ濱根根い關係いえの死体と判明した。次郎氏の葬式に來り小川方の前を流るゝ新川上流の一本橋を渡る際目が不自由なため墜落し激流に捲き込まれ行方不明となつたので下流を捜索したが發見されなかつたが、九日午後六時頃農會で調査中であるが現在で判つてゐるのは伊藤藤三氏が八百五十圓、坂さ加減が十二分に發給されてゐる事となり町内に点火する奉祝燈を作製し一般の觀覽に供する計來て同人の頭蓋骨、肋骨等を粉砕して同形は楠公父子櫻井驛の碎し生命危篤である。

元小學校の先生の 四百余圓の詐欺

ザル屋の主人發狂

平町古銀治町三十二番地泉寅之助方居住元好間、平窪、鹿島の小學教員豊田定義(四六)は大正十五年五月二十日から本年三月二十五日迄平窪村大字鯨岡字中根製造業松崎實吉方に居住してゐるうち下宿料を拂はないのみならず種々な虚言を以て四百余圓を借りその支拂ひに窮したため、検事局の書記になつたとか、訴訟事件を依頼されたからその解決次第金をかへすと虚言を言つて今日に及んだが、實吉はそれの回収がつかぬのを苦にして過般發狂するに至つた事を平窪で探知し目下取調中である。

比佐代議士の財産 全部で僅か三百圓

役人の呆れた調査

政府當局調査にかゝる昭和三年九月末日現在の衆議院議員の職業、年齢、財産調査の極秘書類が某官衙に到着したので之をのぞいて見ると面白い。石城郡選出代議士比佐昌平氏は貧乏な点で第二位、財産三百圓とある。一番の貧乏代議士は田淵豊吉氏なるものがあるが、一体何を標準あるが、東部電力株式會社平管に決し既に準備中であるが大輪生れ磐崎村藤原三井炭礦坑夫岩瀬龜治(三四)は九日午前十一時平町元郡役所前の新川に死体が明したのは好間村のみで同村の一角氏が一千圓である、最高のは呆れかへらざるを得ない。

水道問題 批判演説會

御大典の奉祝電燈

平町電燈調査新報社外敷社主催の大演説會が十月十日午後六時から平町演説會場にて開かれた。演説會は十日午後六時から平町演説會場にて開かれた。演説會は十日午後六時から平町演説會場にて開かれた。

平町菊花大會

御大典の奉祝電燈

平町の菊花大會は昨年元公會堂跡の廣場に菊花品評會を催し本縣及び茨城、宮城縣其他の同好者に非常の賞讃を博したが今秋は御大典を記念し十一月五日から十九日迄十五日間元郡役所前三十九日の菊花大會を開催すること大輪生れ磐崎村藤原三井炭礦坑夫岩瀬龜治(三四)は九日午前十一時平町元郡役所前の新川に死体が明したのは好間村のみで同村の一角氏が一千圓である、最高のは呆れかへらざるを得ない。

見事第一着

加藤氏の愛馬

於開成山競馬會 毎年春秋二回郡山市開成山に於て催さるゝ競馬會には各地から競ふて出馬せしめ毎回競馬熱を高めてゐるが、平地方には骨て競走馬を出場せしめたることなきを遺憾に思ひ内郷村加藤丈夫氏は先年來飼育中の愛馬タヒラ(三才)を今秋四十九回競馬會に出場せしめた處見事第一着賞を得三ッ組銀盃並びに賞金二百圓を得たが、馬匹改良獎勵の意味から平地方斯業者を發憤せしめてゐる。

爆發の破片で重傷

印刷物は加納活版所

平町田町西洋料理業の老舗一の井では今回季節料理松茸フライを仕出す事になつたが、一品三十錢で賣出し期間は僅か三十日間である。印刷物は加納活版所

